



学校給食センターの民間委託について



久松 猛 議員

＜質問＞

第三次土浦市行財政改革大綱に伴う実施計画の目標として、学校給食センターを民間委託するとしている。民間企業は当然利益追求が至上命題であるから、経費を抑えて利益を上げるため、未熟練のパート労働者の雇用による人件費の削減、冷凍食品や輸入食品の多用による食材費コストの低減などが予想される。子どもたちの命や健康に影響の出る可能性のある学校給食の効率化、経費の削減を理由とした民間委託はやめるべきである。執行部の見解を伺う。

＜教育長＞

学校給食センターの民間委託の内容については、現在は調理した給食の配送と容器の回収業務は民間に委託しているが、今後は調理業務、食器の洗浄業務等を民間に委託することを考えており、献立の



学校給食センター調理室

作成、食材の購入、業務の指導監督等についてはこれまでどおり市職員及び栄養士が行うものである。これら委託内容を含めて、委託の時期、方法等については、学校給食センター運営審議会が設置されているので、その中でお諮りして、また議会、PTAにも御協議いただきながら進めてまいりたいと考えている。

（掲載以外の質問事項）

- 一 国保税の申請減免について
- 二 三つ目の児童館の建設計画について
- 三 介護保険の給付対象外となった軽度者の福祉用具レンタル費用等への独自の助成
- 四 「デマンド型乗合福祉タクシー」の料金低減策について

園児や児童の送迎の現状認識と対策について



荒井 武 議員

＜質問＞

市内のお母さんより、幼稚園の送迎が大変なので、市で送迎の応援をしていただけないかとの要望があった。土浦市次世代育成支援行動計画の目的として、子育て家庭や子育てを支える地域全体に対する施策を総合的かつ計画的に推進していくとある。園児、児童の送迎が困難な家庭に支援をしてはいかかがか、送迎の現状と対応策について伺う。

＜教育次長＞

通園の現状について、旧土浦市内の五園は保護者による送迎であり、新治幼稚園は通園区域が旧新治地区全般にわたり、マイクロバスによる送迎を開園以来行っている。私立幼稚園は、市内の全園が有料によるバス送迎を実施している。市内の公立幼稚園においては、今後も現行どおりの体制を維持してまいりたい。

＜保健福祉部長＞

保育所については、時間帯が一定していないなどからバス等での送迎は実施していない。子どもの通所は保護者が責任を持って行うという、国の保育所保育指針に基づき、今後とも保護者送迎をお願いしたい。

高齢者の健康づくりへの対応は

（掲載以外の質問事項）

- 二 単独浄化槽撤去費用の助成



宮本 勉 議員

＜質問＞

時代を経るにつれて、食料事情の改善や医療技術の進歩により、人生は、八十年、九十年と延びている。命の寿命に気をとられ、人がどれだけ健康に過ごせたかという健康寿命についてはあまり関心が少なかったと思う。今、健康づくりに対する関心が高まりつつある。本市における健康づくりはどのように行われているか伺う。

＜保健福祉部長＞



高齢者スポーツ大会から

高齢者を対象とする健康づくりに関する事業については、基本健康調査、高齢者健康教育、高齢者健康相談、食生活改善推進事業、運動普及推進事業等を実施している。健診後の事後指導としては、高血圧予防教室、糖尿病予防教室及び高脂血症予防教室の受講を勧めている。様々な健康づくり事業の一層の充実を図り、医療費及び介護給付費の削減に努めるとともに、高齢者が健康寿命を延長延命でき、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう努めてまいりたい。

（掲載以外の質問事項）

- 二 市政懇談会について
- 三 霞ヶ浦の浄化について